

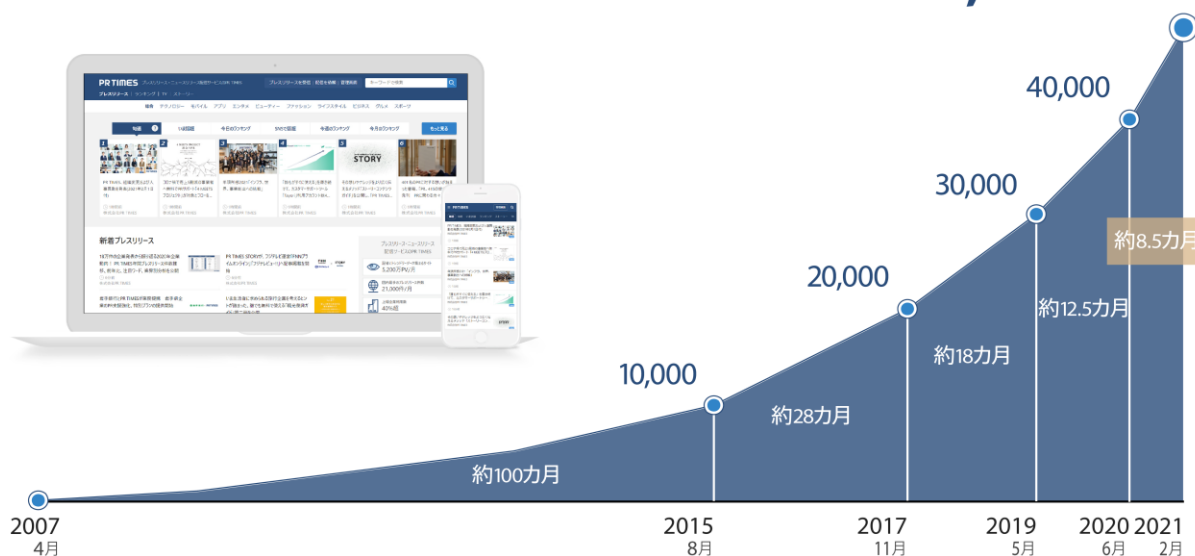
2021年2月16日
株式会社 PR TIMES

PR TIMES 利用企業数が 5 万社を突破、約 8.5 カ月で 1 万社増

- 2020 年 4 月以降、新規登録企業数は毎月 1000 社超え -

PR TIMES 利用企業社数

50,000 社



株式会社 PR TIMES（所在地：東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922）が運営するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」（<https://prtimes.jp/>）は、2021年2月15日（月）に利用企業数が5万社を突破いたしました。また、国内上場企業の利用率も44%を超えています。

2020年6月2日に4万社を突破してから、約8.5ヵ月で5万社を突破しております。新規登録のペースは加速しており、2020年4月以降は新規登録企業数が毎月1000社を超えています。

また、これにより2020年度中期経営計画（2016年7月13日発表）において掲げた、2020年度内に利用企業数5万社到達という事業目標を達成いたしました。

「PR TIMES」利用企業登録ペースの加速とプレスリリースの役割の拡大

2020年6月2日に4万社を突破してから約8.5ヵ月を経た2021年2月15日に、「PR TIMES」利用企業数は5万社を突破いたしました。

「PR TIMES」利用企業登録のペースは年々加速しています。2007年4月10日のサービス開始以降、1万社毎に到達に要した年月を列記していくと、1万社到達まで約8年4ヵ月＝約100ヵ月（2015年8月3日に到達）、2万社到達まで約2年4ヵ月＝約28ヵ月（2017年11月30日に到達）、3万社到達までに約1年6ヵ月＝約18ヵ月（2019年5月21日に到達）、4万社到達までに1年と約半月＝約12.5ヵ月（2020年6月2日に到達）、5万社到達までに約8.5ヵ月（2021年2月15日）と、所要期間を短縮してきたことが分かります。2020年4月以降、毎月新規登録数は1000社を超えています。また、同10月にはプレスリリース件数も月間2万1746件と過去最高を記録しており、「Go To キャンペーン」をはじめとする経済回復への企業活動の発表において、「PR TIMES」をご利用いただくケースが増え、9月以降11月*まで毎月2万件を超えるプレスリリースが配信されています。

*2020年度第3四半期決算発表時点

参照：2020年12月21日発表 PR TIMES2020年プレスリリース件数推移とそこから見える企業動向について

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001042.000000112.html>

また、サイトアクセス数は月間5000万PVを超えており、そのアクセスユーザーの8割超をスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末が占めています。これは、事業者がタイムリーに発信する一次情報を、メディアや生活者が求める傾向がさらに強まったことを表していると言えます。

プレスリリースの発信者と受信者、閲覧者が多様になることは、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」のミッション実現に向けた大切な変化である一方で、その情報を流通させるプラットフォームとしての責任をより強く持つ必要があります。この情報流通をより平等で有益なものにするために、2021年3月1日を発効日として利用規約を改定^{*}し、当社そして、「PR TIMES」をご利用いただくすべての方が情報発信に際して持つ社会的責任を明確にしました。今後も行動者の情報発信のパートナーとなれるよう伴走してまいります。

^{*}2021年2月1日発表、利用規約改定に関するプレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001056.000000112.html>

ご利用企業数 5 万社が意味すること

「PR TIMES」は、プレスリリースを発信いただく企業、受け取って取材源としていただくメディアの記者に留まらず、友人におすすめのニュースとしてシェアいただく方、行動者の発信をともに支援いただく提携先、あらゆるステークホルダーに支えられ、この度、5万社という一つの節目を迎えられたと実感しています。

5万という数字の裏側には、たくさんの皆さまの想いが詰まっていると私たちは考えています。プレスリリースを発信する前には、商品・サービスを最高のものにするために奮闘された担当者の皆さま、その想いを伝えようとプレスリリースに言葉をつづった広報の皆さま、そして、その想いを受け取ったメディアや生活者の皆さま。私たちはすべての広報・PR活動の営みに、心からの敬意と感謝を抱いています。

一方で、本当に私たちは皆さまの想いや期待に応えられているのか、改めて足元を見つめ直しています。日頃から「PR TIMES」をお使いいただいている方にも、ご不満な点や私たちが叶えられていない要望があると思います。また、今はもう「PR TIMES」をご利用いただいていない方がいることも事実です。たった一度の発表機会を「PR TIMES」に委ねていただいたにも関わらず、寄り添い切れなかったことを申し訳なく思っています。

私たちができること、できていないことを改めて見つめ直し、「PR TIMES」を利用するすべての方が、良い機会であったと振り返っていただけるように、プラットフォームとしての責任を果たしてまいります。誰もが当たり前のように「PR TIMES」を利用し、あらゆる行動者がヒーローとして発信され、受け取られるようになったとき、プラットフォームを超え、社会的インフラに近付けたと考えています。

私たちはプレスリリースの可能性を信じています。行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ。これからも行動者のパートナーとして伴走できるようサービスを運営してまいります。

そして、今回この5万という数字を積み上げていただいたご利用企業の皆さまに向けて、感謝とお詫びをお届けするために、その想いと、利用企業すべての社名をA1サイズの用紙に記載した一覧を同封して郵送します。今回はインターネット上だけでなく、郵送でもお届けすることにしました。

封筒のデザインとなっている朝焼けの空は、5万社の皆さまへの想いを胸に、今からはじまるという気持ちで、今よりももっと皆さまに寄り添っていけるよう、決意を込めています。5万社すべての社名を記載するため、発送まで少々お時間をいただきます。順次お届けします。

「PR TIMES」を、使っているみなさま。

本当にありがとうございます。

1つのプレスリリースには、決して代えることのできないメッセージと物語がある。そして、そのプレスリリースの発信に至るまでに、社内での確認や打ち合わせがあり、関わってきた人と時間がある。そんなみなさん、ひとつ一つの想いすべてに、PR TIMESはちゃんとおこたえしていきたい。と、考えています。

PR TIMESは、みなさまがいないと存在しません。発信したい誰か、行動したい誰かがいるから、それを応援させていただく私たちの意味が出てくる。みなさまが企業成長していかなければ、私たちの成長もありません。

50,001社目、50,002社目、という新しい企業さまのご利用ももちろん大切ですが、今まで、私たちをご利用いただいたみなさまが、より発展されることが、何より大切だと思っております。今後も、さらにお力になれることを考え、より深く、みなさまの意見をうかがえる場をつくり、改善点を探っていきたいと考えております。

今まで、本当にありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。

**PR TIMESを、
使っている
みなさま。**

本当にありがとうございます。

PR TIMESの利用企業数が50,000社を超えました。

1つのプレスリリースには、決して代えることのできないメッセージと物語がある。そして、そのプレスリリースの発信に至るまでに、社内での確認や打ち合わせがあり、関わってきた人と時間がある。そんなみなさん、ひとつ一つの想いすべてに、PR TIMESはちゃんとおこたえしていきたい。と、考えています。PR TIMESは、みなさまがいないと存在しません。発信したい誰か、行動したい誰かがいるから、それを応援させていただく私たちの意味が出てくる。みなさまが企業成長していかなければ、私たちの成長もありません。50,001社目、50,002社目、という新しい企業さまのご利用ももちろん大切ですが、今まで、私たちをご利用いただいたみなさまが、より発展されることが、何より大切だと思っております。そのために、みなさまの意見をさらにうかがい、くみ取り、深く理解し、より、みなさまに必要とされるPR TIMESになっていかなければならないと思っております。今まで、本当にありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。

PR TIMES

画面に続く

「PR TIMES」を、もう、使っていないみなさま。

本当に申し訳ありません。

1つのプレスリリースには、決して代えることのできないメッセージと物語がある。そして、そのプレスリリースの発信に至るまでに、社内での確認や打ち合わせがあり、関わってきた人と時間がある。そんなみなさん、ひとつ一つの想いすべてに、PR TIMES は、ちゃんとおこたえてきてきたのかと今、考えています。

なぜ、もう一度使ってみようと思われなかったのか。「思ったほどの効果がなかった」「PR TIMES の対応が気になった」「プレスリリースの作り方が難しい……」。きっとさまざまな原因やきっかけがあると思います。それを、もう一度見つめ直していこうと考えております。みなさまの意見をうかがえる場をつくり、改善点を探っていきたいと考えております。「もう一度、託してみよう」と思われる PR TIMES になれるための一歩を踏み出します。

今まで、本当に申し訳ありませんでした。もし、できることなら、これからの PR TIMES と、ぜひおつきあいいただければと思っています。よろしくお願いいたします。

**PR TIMESを、
もう、使っていない
みなさま。**

本当に申し訳ありません。

PR TIMESの利用企業数が50,000社を超えました。

1つのプレスリリースには、決して代えることのできないメッセージと物語がある。そして、そのプレスリリースの発信に至るまでに、社内での確認や打ち合わせがあり、関わってきた人と時間がある。そんなみなさん、ひとつ一つの想いすべてに、PR TIMESは、ちゃんとおこたえてきてきたのか、と今、考えています。なぜ、もう一度使ってみようと思われなかったのか。「思ったほどの効果がなかった」「PR TIMESの対応が気になった」「プレスリリースの作り方が難しい……」。きっとさまざまな原因やきっかけがあると思います。それを、もう一度見つめ直していこうと考えております。みなさまの意見をさらにうかがい、くみ取り、深く理解し「もう一度、託してみよう」と思われる PR TIMES になっていかなければならないと思っています。みなさまに必要とされる新しい一歩を踏み出していかなければならないと考えております。今まで、本当に申し訳ありませんでした。そして、あらためて、これから、よろしくお願いたします。

PR TIMES

東京に拠る ©

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2021年2月に5万社を突破、国内上場企業43%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万人超、サイトアクセス数は月間5000万PVを突破、配信プレスリリース件数は月間2万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア200媒体にコンテンツを掲載しています。クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPRパートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やカスタマーサポートツール「Tayori」の運営、スタートアップメディア「BRIDGE」等のメディア運営も行っています。



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ
会社名： 株式会社 PR TIMES （東証一部 証券コード：3922）
所在地： 東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル3F
設立： 2005年12月
代表取締役： 山口 拓己

事業内容： - プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- 広報・PRの効果測定サービス「Web クリップング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv>) の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
- スタートアップメディア「BRIDGE」 (<https://thebridge.jp/>) の運営、等

URL： <https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES